

カリキュラムの特徴

機械情報システム学科のカリキュラムは、機械系と電子情報系の融合を特徴とし、専門基礎科目が多数設定されています。入学時に学ぶ数学、物理学から専門科目に容易に移行できるように、理工学基礎科目を充実させました。また、これに付随して、学科の設計系科目（機械系の製図系科目や電子系の回路系科目等）の他、学科各領域の基幹科目（機械系は力学関連科目、電子系は電磁気学関連科目等）を充実させました。将来、機械系・電子系においてものつくりに関与することになっても十分に対応することができます。

機械情報システム学科では、それぞれのコースで与えられた課題に対して、学生が計画立案から結果を出すまで自主的に取り組み、さまざまな問題を解決していく体験型授業PBL（Practice, Product, Problem, Project Based Learning）を、エネルギー（ハイブリッドソーラーカー）、ロボット、理科教育の3つのコースを設け実施しています。

PBLの活動は、週1回の時間割上の時限のみでなく、授業期間の空き時間や夏休みなどの長期休暇を利用して行います。また、活動の成果を夏休み体験学習イベント、学園祭など学内イベントで発表するとともに、ロボカップサッカー、ソーラーカーレースなど学外のコンテストへの参加を目指します。

PBLプロジェクトは1年次の「PBLⅠ」を必修とし、「PBLⅡ」以降は選択科目とします。原則として、「PBLⅡ」「PBLⅢ」の順で履修してください。なお、「PBLⅡ」以降は履修定員があるため、履修希望者数が定員を超えた場合、履修できない場合があります。

この他、学科科目群には教育職員免許状取得に必要な科目の一部が配置されています。それらの科目を履修することによって、学科卒業要件となる単位と同時に、教育職員免許状取得に必要な単位も修得できるように配慮されています。

さらに、社会人対応を目指した実践科目を集中講義として設置しています。この科目を履修のうえ、キャリアセンターの就職ガイダンスに参加し、学科で実施している就職研修行事に参加することで就職に対する準備ができます。

入学時に数学や物理学の不得意な人でも、課外の学習支援システムがあり、実際に成績が向上しています。あまり自信がない人は積極的に参加してください。

卒業要件

- ① ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、玉川教育・FYE科目群から必修科目をすべて含み7単位以上を修得していること
- ② ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、人文科学科目群・社会科学科目群・自然科学科目群・言語表現科目群から各4単位以上、学際科目群から2単位以上修得していること
- ③ 機械情報システム学科の必修科目24単位、必修選択科目30単位から8単位以上を含み、合計62単位以上を修得していること
- ④ 卒業時における累積GPAが2.00以上であること
- ⑤ 上記要件をすべて満たし、合計124単位以上を修得していること

卒業までの単位配分

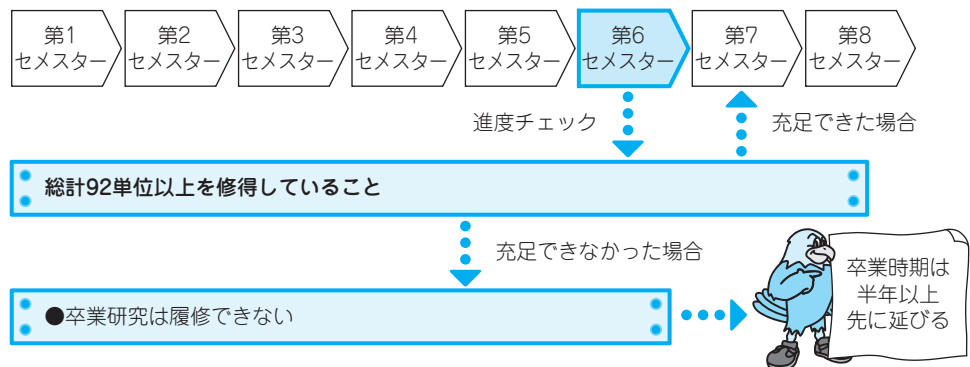
機械情報システム学科では、卒業までに、ユニバーシティ・スタンダード科目、学科科目群、他学部・他学科開講科目など、数多くの開講科目から、卒業要件および履修モデルに沿ってバランス良く学習できるカリキュラムが構成されています。

ユニバーシティ・スタンダード科目	
玉川教育・FYE科目群	7単位
人文科学科目群	4単位以上
社会科学科目群	4単位以上
自然科学科目群	4単位以上
言語表現科目群	4単位以上
学際科目群	2単位以上
機械情報システム学科科目群	62単位以上
必修科目	24単位
必修選択科目	8単位以上
自由選択科目	任意 ・他学部他学科開講科目 ・他大学との単位互換科目
卒業に必要な単位数	124単位

卒業研究着手条件


機械情報システム学科において、第6 Semester（3年次）終了時に以下の卒業研究着手条件のチェックが行われます。

第6 Semester（3年次）終了時における卒業研究着手条件の進捗チェック



教育職員免許状

種 類
高等学校教諭 1 種免許状（工業）

取得できる教育職員免許状一覧
【教職課程受講ガイド】 p. 3

資格

 p. 195
 p. 196
 p. 197

工事担任者（国家試験受験科目一部免除）

電気通信主任技術者（国家試験受験科目一部免除）

無線従事者（国家試験受験免除）

- ・ 第一級陸上特殊無線技士
- ・ 第二級海上特殊無線技士
- ・ 第三級海上特殊無線技士